

令和3年度第3回庄内警察署協議会の開催

| | |
|-------|-----------------------------|
| 日 時 | 令和3年12月15日（水）午後2時から午後3時までの間 |
| 場 所 | 庄内警察署大会議室 |
| 出 席 者 | 協議会委員：会長以下5名 警察署員：署長以下6名 |
| 議 題 | 警察活動全般に対する意見・要望等について |

【協議内容等】

| 議 題 | 警察活動全般に対する意見・要望等について | |
|---|---|--|
| 委員からの意見等 | 警察署の回答 | |
| <p>民間企業においては優秀な人材を確保するため、各企業でインターンシップ等を行っている。</p> <p>警察では優秀な人材確保のためどのような取組を行っているのか教えてほしい。</p> <p>また、インターンシップ受入れの際、一日警察署長体験等を実施してはどうか。</p> | <p>警察では、優秀で多様な人材を確保するため、応募資格年齢の引き上げなど試行錯誤しながら、様々な魅力を発信しています。</p> <p>当署では、管内高校生を対象とするインターンシップ体験、高校等と連携した就職ガイダンスの開催に取り組んでいるほか、中学校においても交通安全教室などを利用しての広報活動を行っています。</p> <p>一日警察署長体験についても、警察の魅力発信として効果が期待できることから、今後検討します。</p> | |
| <p>歩道橋を撤去した場所に、信号機や横断歩道の設置要望がある場合、警察はどう対応するのか。</p> | <p>信号機や横断歩道については、道路状況や車両等の交通量、横断する歩行者の利用状況等の実情を踏まえて、設置を検討します。</p> <p>仮に、それらの設置を見送った場合でも、警察としては、実際の道路状況に応じて、パトロールや取締りを強化するとともに、同所の交通実態の把握を継続し、要望のあった場所への信号機や横断歩道設置の必要性を検討します。</p> | |
| <p>信号機のLED化が進められているが、冬期間は雪が溶けにくく、信号機が見えにくいときがある。警察で対策をしているのか。</p> | <p>着雪対策として、平成23年度から赤色灯器のレンズに熱線が入った信号機を導入し、それ以前に設置された信号機にはお椀型の透明</p> | |

| | |
|---|---|
| <p>か教えてほしい。</p> <p>また、黄色から赤色へ切り変わる時間が短く、冬期間はスリップ事故の危険性が高まる箇所がある。</p> <p>信号機の灯火が切り替わる時間に基準があるのか教えてほしい。</p> | <p>な着雪防止フードを取り付けています。</p> <p>着雪で見えにくい信号機を見掛けた際は、安全な場所に停止し、警察への通報をお願いします。</p> <p>また、信号機の切り替わる時間設定、信号が一巡するサイクルは、交通量や交差点の大きさ、歩行者の横断時間等を考慮して設定されています。</p> <p>信号交差点を通過する際は、横断歩行者用信号の灯火にも注意して、いつ信号が黄色に変わってもいいように、路面状況に応じた安全な速度と長めの車間距離をとって、慎重な運転を心掛けてください。</p> |
| <p>自分や他の車があおり運転の被害に遭ったり、危険な運転をする車両の様子を直接目にしたり、それらの様子が自分のドライブレコーダーに録画されていたりした場合、どのように対応すれば良いのか教えてほしい。</p> | <p>令和2年6月30日に施行された道路交通法の改正によって、妨害運転（あおり運転）に対する罰則が創設されました。</p> <p>これまでも、車間距離を詰められたなどの通報が警察に多く寄せられており、警察官の現認がなくてもドライブレコーダーの映像から行為者が特定できた場合、その者に対して指導警告し、状況によっては妨害運転として捜査を行っています。</p> <p>万が一、現場で妨害運転の被害に遭った場合は、安全な場所に停車してやり過ごし、相手車両の運転手が近づいてきた時は、ドアや窓を開けずに110番通報をしてください。</p> |
| <p>地域の会合で「動画KYT」を体験する機会があり、大変効果的で運転の参考になると感じた。</p> <p>その効果を地域住民に広める意味でも、今後、協議会委員が体験してはどうか。</p> | <p>県警には、体験型の交通安全機器として、運転中の危険を予測して自分の判断力等を知ることができる「動画KYT」を始め、「交通安全ゆとり号」「わたりジョーズ君」等があり、無料で体験することができます。</p> <p>これらを安全運転の広報啓発活動として地域住民に広めていくことは、交通事故防止にもつながり大変効果的です。今後当協議会での体験を検討します。</p> |
| <p>夜光反射材の着用は、交通死亡事故リスクの減少につながる効果がある。</p> <p>特に高齢者を中心に夜光反射材の着用促進活動をしてほしい。</p> | <p>現在、巡回連絡や交通啓発活動等のあらゆる機会を通じて夜光反射材の普及活動を実施しています。</p> <p>冬は交通啓発活動の機会が限られてくるため、その代替として、マスコミや町報を活用した夜光反射材の効果の発信、役場や病院の待合室等に設置されたモニターでの交通事故</p> |

| | |
|---|--|
| | <p>防止の広報映像放映等、効果的な普及活動を推進します。</p> |
| <p>国道47号上での交通事故の発生が多いため、庄内警察署と新庄警察署が合同で交通事故防止キャンペーンを行ったと報道されていた。このほかにも他の警察署等と合同で活動を行うことはあるのか教えてほしい。</p> | <p>本年4月以降、国道47号で交通死亡事故が相次いで発生したことを受け、新庄警察署と交通関係団体とが合同で「みんなで守ろうルート47作戦」と題して、白糸の滝ドライブインにおける立哨活動とパトカーでの警戒活動を実施しました。</p> <p>また、酒田警察署、鶴岡警察署との3署での合同検問のほか、県下一斉の取締り強化日には鶴岡警察署と合同で同一路線での速度取締りを実施しています。</p> <p>今後も、より一層の注意を呼び掛ける活動を行っていきます。</p> |

【開催状況】

